

### 1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	物流・産業		責任者	港営部 海務課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化		連絡先	052-654-7880
事務事業名	無線通信事務		連携課	
目的	対象(誰・何を)	入出港船舶及び港湾関係者	事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	安全で効率的な船舶航行を促し、円滑な港湾利用に寄与します。		
概要	名古屋港入出港船舶と国際VHF無線電話(ポトラジオ)により通信を行い、本船動静情報の入手や水先人、タグボート、係留施設、荷役状況等の情報提供を行います。		根拠法令等	名古屋港管理組合 港湾施設条例及び同 施行規則
活動内容	取り扱う通信の内容は、①伊良湖水道航路通過時刻、港外や高潮防波堤の到着予定時刻、アンカー位置・時刻等の本船情報 ②水先人やタグボートのスケジュール情報 ③先船の荷役状況等の係留施設情報 ④風向、風速等の気象情報等です。また、鍋田ふ頭コンテナターミナル利用船舶に対しては、特定運用方法により、離着岸を円滑に行うための調整を行います。		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
			関連シート	

### 2 DO(実施)

コスト	単位	26年度	27年度	28年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	7,240	7,215	35,520	16,658	業務の夜間委託により、事業費は大幅に増加したが、人件費は半減しました。
人件費	千円	56,064	56,378	27,773	46,738	
合計	千円	63,078	63,618	63,293	63,330	

### 3 CHECK(検証)

指標名	26年度	27年度	28年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
適正な通信対応回数率(%) (単年度管理型)	目標	-	100	100	100	適正な通信対応回数÷無線通信回数	
	実績	100	100	100			
	事業進捗状況(28年度)		<small>目標値を上回る</small> <small>目標値をやや下回る</small>		<small>目標値どおり</small> <small>目標値を下回る</small>		
無線通信回数(回)	目標	-	-	-	-		
	実績	20,133	18,636	19,209			
	事業進捗状況(28年度)		-				
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	適正な通信対応回数率は、本年度においても達成できました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	ポトラジオの免許は、港湾管理者または海上保安庁に与えられるものであり、本組合が関与する必要はありません。また、「無線通信回数」は低下傾向にありますが、年間約20,000回あることから、利用者ニーズは高いと考えております。				
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	船舶の安全で効率的な航行に寄与することは、背作達成の一翼を担っていると考えます。また、成果については、「適正な通信対応率」は、100%達成されており、期待通りとなっております。				
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	平成28年度から夜間業務を委託したことにより、コスト削減が図られております。				

### 4 ACTION(取組)

課題	29年度以降の取組
更なるコスト削減及び業務効率向上のため、平成34年度を目途に全面委託化を図ります。	全面委託化に向け、無線通信機器類の機能維持のありかた等について検討します。